



リポーター
高橋三佳さん(狭山台在住)

市民の皆さんにリポーターになっていただき、市の施設や事業をご紹介します。



本はみんなの物です。大切に扱い、楽しく利用してください。
中央図書館は祝日も開館しています

自分の好きな本を探し

読書を楽しんでみませんか
皆さんは、一年間に何冊ぐらいの本を読みますか。読書は表現力を高め、想像力を豊かにしてくれますね。今回は、私もよく利用する中央図書館をリポートしました。
市内には、中央図書館と狭山台図書館があり、児童図書や一般図書、雑誌など50万冊以上が所蔵されています。貸し出し数は年間76万冊以上、そのほかに移動図書館「さみどり号」や広瀬公民館の読書コーナーも大勢の皆さんに利用されているそうです。また、所沢市、飯能市、入間市、川越市にある図書館で自分のカードを作れば、その

市民と同じように図書などを借りることができる「相互利用」の制度もあります。より多くの図書館が利用できるのも便利ですね。

図書館では、快適に利用してもらうための工夫もたくさん行っています。気づいたことを書いてもらって、図書館への意見箱では、出された意見や要望に回答して、エレベーターの前に張り出しています。要望がきっかけで、昼食がとれるスペースの設置や祝日の開館などが行われました。

探している本がないときや貸出中は、リクエスト・予約の申し込みをすれば、ほかの図書館から借りたり、新刊の場合はできるだけ購入してくれます。



図書のほかに紙芝居やCD、ビデオなども貸し出します

さらに、より便利に図書館が利用できるよう、自宅などからインターネットを利用して図書を検索したり、借りたい本の予約ができるシステムを導入しているそうです。書名、著者名、出版者名などから、借りたい本が簡単に探せますし、よく読まれている本や新刊・新着の案内、貸出・予約のベストランキングなどを見

ることができます。

このほかにも、本に親しんでもらうためのさまざまな事業を行っています。目の不自由な方のために、ボランティアの方が資料を読む「対面朗読」や、就学前の子どもに絵本を紹介したり読み聞かせをする「ちびぞうクラブ」、小学生に本を読むこと・考えること・調べることを楽しさを知ってもらおうと「かぞうクラブ」、また、ボランティアによる「お話会」などが毎週のように行われ、年々参加する方が増えていきます。担当の方は、「小さいころから本に親しんでもらいたい。読書の楽しさを知っていただきたい。そのために児童向けの事業を数多く行っています。これらの事業は毎月25日発行の広報「さやま・お知らせ」に掲載していますので、ぜひ参加してください」と話してくれました。

これからは涼しくなって、読書には良い季節になりますね。図書館を利用し、読書を楽しんでみてはいかがですか。素晴らしい本との出会いによって、心豊かな時を過ごせるかもしれませんね。

オピニオン

「おっ 今年も始まったんだな！」と思える
 入間川七夕まつりの『あの曲』を復活して欲しい
 私は、毎年遠方から来るいとことと
 もに「入間川七夕まつり」を楽しみにし
 ています。今年のお祭りで一つ気にな
 った点がありました。毎年流れていた、恒例の音楽が聞けなかった気がし
 ます。いつも『あの曲』が流れると、「おっ また今年も
 始まったんだな！」とワクワク、ソワソワします。そし
 て、お祭りが終わってしまうときに『蛍の光』が流れる
 と何だか夏休みが終わってしまったような、しみじみ
 とした気持ちになります。にぎやかな音楽は、確かに周
 りの人達には迷惑で、赤ちゃん達にはかわいそうな面
 もありますので、注意しなくてはいけないと思います。
 でも、地域のお祭りは、いつまでも華やかでにぎわって



いて欲しいと思うので、ぜひ夏の風物詩である恒
 例の『あの曲』を復活して欲しいと思います。そして、
 私も何かお祭りに、参加できたらいいなあと思い
 ます。
 能上真衣さん(14歳)

市からの回答

ご意見をありがとうございます。真衣さんがお尋ねの
 「あの曲」は、祭りの開会を告げる「狭山市歌」のことで
 すね。七夕まつり実行委員会では、参加者をはじめ多くの見
 物客の方々の安全に注意し、祭りが楽しくにぎやかに、思
 い出に残るようなものにしたいと考えています。また、歴
 史ある入間川七夕まつりが、将来にわたり引き継がれ、多
 くの人人に愛される祭りであって欲しいと願っています。
 会場内ではにぎやかな音楽を流して祭りを盛り上げたい
 ところですが、自宅で療養している方などに配慮して放
 送を自粛しました。しかし、祭りの合図を心待ちにされて
 いる人達のためにも、今後も地域の方々にご理解をいた
 だき、放送の音量に配慮しながら流していきたいと考えて
 います。今年も竹飾りの製作をはじめ、民踊や祭り囃子、
 清掃ボランティアによるクリーン活動など、多くの方々
 にご協力いただき、参加していただきました。来年は、ぜ
 ひ真衣さんも参加してくださいね。

担当・狭山市入間川七夕まつり実行委員会



AET corner

Melanie Boryskavich・堀兼中学校勤務

Did you have a good summer holiday? I think that the holidays in Japan are too short. Did you know that in Germany people can take 30 days? In Canada, teachers are able to have 2 months off of school. Research shows that people who take a break live longer, feel more satisfied with their life, and have a better family life. When we take holidays, we decrease our chances of burning out. In fact, when people come back to work, they feel refreshed and have new ideas. Medical researchers believe that holidays maintain brain cells. Our brain is like a machine... if you keep it running without a break, eventually it will break down. Taking holidays also boosts the economy - the more free time we have, the more we spend. With the way that things are going in the world today, I think that we would all benefit from taking a break!

楽しい夏休みが過ごせましたか。日本の休みは大変少ない
 と思います。ドイツ人は30日休むのを知っていましたか。
 カナダでは、先生は2か月学校を休むことができます。調査
 では、長く休む人ほど生活に満足し、よりよい家庭生活を送
 っているそうです。休暇をとると自分のエネルギー消費を
 減らします。実際、仕事に戻ると元気を回復して、新しい
 考えも生まれるものです。医療研究者は、休暇は脳細胞を維
 持すると言います。脳は機械に似ていて、もし働かせ続け
 たら故障するでしょう。休暇が多ければ、それだけお金も使う
 ことになり、経済効果も生み出します。今日の世界の動向を
 考えると、休暇を取るとは有益なことだと思います。

<メラニー・ボルスカビッチ>(英文の要約)

●みんなできれいに、気持ちよく 年に5回、通学路清掃を実施

生徒達が毎日通る通学
 路なので、各学期の定期試
 験の日に、自宅からごみを
 拾いながら登校します



●地域と学校を結ぶ「川中だより」

本校は、地域のコミュニティーセンター
 としての開かれた学校作りを推進していま
 す。その取り組みの一つが、地域の皆さんに
 学校のことを知っていただくため、毎月発
 行している学校通
 信「川中だより」で
 す。川中だよりは、
 昨年5月から学区
 内の全世帯に配ら
 れ、地域と学校を
 結ぶパイプ役にな
 っています。



入
 間
 川
 中
 学
 校